



キク編

病害虫注意報 2023年5月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病・害虫注意！

ハウス内は高湿度状態になりやすく、白さび病が発生しやすくなります。モヤコン使用など、湿度を下げる工夫を行いましょう。ハウスまわりの雑草は病害虫に発生源となります。雑草が大きくなる前に除草剤を散布しましょう。



症状

▶葉に白い隆起した斑点が発生。

多発条件

▶多湿条件（湿度90%以上）。
▶梅雨時期と9～10月頃の（15～20℃）冷涼な時期。

対策

▶循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
▶排水を良好にする。
▶発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています（輪菊栽培）。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病 予	inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病 予	アントラコール顆粒水和剤	1,000～2,000倍	発病前～ 発病初期	6回
	23	アザミワ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病 予・治	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル※	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	39	白さび病 アブラムシ類 予	ピリカット乳剤	1,000倍	発生・ 発病初期	6回
	15	アザミワ類 マメハダニ類	マッチ乳剤	1,000倍	発生初期	5回
破蕾時	7	白さび病 予・治	カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	6	アザミワ類 ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回

※花き類・観葉植物登録

海藻サンバ

1,000倍：挿し穂浸漬処理、または葉面散布

- ▶コリンによる
光合成促進と発根促進
- ▶海藻エキスによる**発根促進**
- ▶転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

葉焼け軽減に！

プロテックa

500～1,000倍

葉面散布

カルシウム、パラフィン配合
植物表皮を保護強化

